



## 「第1回地域猫セミナー IN東中野2丁目」を終えて

6月21日(日曜日)朝からの雨が続く中、開場1時間前から参加者の姿が見えました。地元の皆様からの暖かい励ましを受け、スタッフ一同は、来場準備にはりきることができました。隣町の新宿区ねこだすけの応援で、東部地域センター3階の会場で「第1回地域猫の会」は、時間通りに開催することができました。



入場者数40名老若男女の皆様で会場は満席となりました。初めに主催者のNPO法人猫花ネット理事長 星野新一からの開会までの経緯の説明をさせていただき、東中野2丁目地域猫の会(通称たかねこネット)代表 和田和代からのあいさつ。



続いて「東京都による飼い主のいないねこ施策」を配布して皆様に23区が取り組む為のガイドラインの説明を猫花ネット理事長 星野新一よりさせていただきました。

前半のラストは、NPO法人ねこだすけ理事長 工藤久美子から「地域猫」活動についてすべき具体的5か条の説明がありました。

1. 不妊・去勢手術
2. きちんとした餌やり・トイレの設置
3. 町会・自治会への報告
4. 管轄行政(中野区役所・中野保健所)への報告
5. 警察への報告



環境省の基本指針より各都道府県各・市町村に課題を提示しました。東京都では猫の適正飼育推進策の一環として平成13年度からの3年間「飼い主のいない猫との共生モデルプラン」を実施。「飼い主のいない猫」を不要なもの！として排除するのではなく地域の問題として地域の実情にあわせたルール作りの必要性を説きました。

行政からは猫に餌をやるな！とも餌をやれ！とも言っておられません。

なぜかと言うと猫は愛護動物だからです。

糞尿被害・盛声の被害の被害から、餌やりをしている人に対して「飼い主のいない猫」の責任を押し付けるような兆候が取り巻いています。

被害者・加害者として対立しているのが 地域問題として尾をひいています。

そんな中で問題を解決するのは当事者だけでは、してはいけません。

野良猫はどうして増えているの？原因は大きくわけて2つあります。

その前に・・・餌を置き放しにしていると、その餌のもとに集まって来る猫には必ず順位があるということをお話されました。

1番目に寄ってくるのは去勢していないオス猫。

2番目に寄ってくるのは近所のテリトリー から現れたメス猫。

そして3番目によってくるのが飼い主に置き去りや捨てられた猫。

なぜ飼い主のいない猫が存在するのか・・・歴史を明治時代に振り返りました。

第1次ブームとして各家に出没する鼠から伝染病(ペスト)を阻止するために、各家では猫を飼うことに国家的に奨励しました。不妊手術などありません。数は増えていきます。

第2次ブームとして、漫画のサザエさんからわかるように飼い猫が外に出るようになった。

日常生活のなかでは猫が魚を銜えて逃げる姿を魚屋が追いかけるとか、さんまを焼いていたのを猫が見ている、人が場を離れた時にはさんまと猫の姿が見えなくなった・・・とか笑い話になっていました。今の住宅事情と違い猫が家と外を往来することが増えました。

猫の不妊手術など当時は、有りませんから増えていきます。

猫は人間生活の傍にいたのが当たり前でした。野良猫として飼い主のいない猫の先祖は昔から着実に数を増やしていきました。

地域猫としての5つの活動を不履行にしてきた原因の説明

1. 行政の不作為(昭和48年動物遺棄に対する 罰金3万円以下の執行を怠り動物広報すらを怠ってきた)
2. 地域不作為(人間関係の間違った気遣いや自分に被害が無いと言う無関心によるもの)

具体的な解決は三者協議にもっていくことが懸命であることを、とてもわかりやすく限られた時間内で熱弁を振るって下さいました。

間10分間の休憩を入れました。

会場内では皆様話が盛り上がりエアコンが効きません(笑)

後半では体験活動の発表がありました。

1番目は地元主催者の「東中野2丁目地域ねこの会」が発足するまでの体験話

2番目は東京都より推進地域として認定された「新井東町会地域ねこ」での取り組み方。





3番目はNHKの番組「地域の底力」で放映された後の経過を質疑応答で「南中野地域ねこ」の会から報告がありました。

地域猫活動についての質問・相談ではトイレの作り方で話が盛り上がりました。  
個人的な悩みについては個別相談会を解散したあとに設けました。

何点か抜粋してみますと

1. 近所の飼い猫と、のら猫について相談していく窓口がないので困っている住民の方。
2. 捕獲の依頼やねこの責任者の決め方・費用の負担などについての相談がありました。
3. 近所との絡みも有り悩みを解決するために、早急に解決していきたいことなど。

を優先にお話を伺いました。

一人で抱え込まないよう、これからも定期的な相談会等は継続していかなくてはと、次回までのテーマを与えて頂いた今回のセミナーの内容をお届けしました。

地域のことは地域の中で、解決していく環境を皆様と作っていきたいと思います。

管理者 あすなろより

